



UIUXガイドライン(案)

令和8年1月

政策企画室市民情報部広報担当

目次

1. UI/UXガイドラインについて	3
1. 本書の位置づけ	4
2. 本書作成の背景と目的	4
3. 留意事項	4
2. コンセプト	5
1. 大阪市がめざすホームページデザインと果たすべき役割	6
2. 大阪市と各区におけるトップページのデザインコンセプト	7
3. デザインルール	8
1. 基本方針	9
2. レイアウト	10
3. インタラクションの考え方	12
4. カラー	13
a. コントラスト比	13
b. カラースキーム	14
5. タイポグラフィ	18
a. フォントファミリー	18
b. フォントサイズと行ボックスの高さ	18
6. エレベーション	19
7. 余白	20
8. 角の形状	24
4. デザイン	25
1. パソコン版	26
a. 市トップページ	26
b. 区トップページ	28
c. コンテンツページ	30
2. スマートフォン版	32
a. 市トップページ	32
b. 区トップページ	33
c. コンテンツページ	34

目次

3. UIパーツ	35
a. 見出しとテキスト	35
a-1. 大見出し(H1)	36
a-2. 中見出し(H2)	37
a-3. 小見出し(H3)	38
a-4. 標準テキスト	38
a-5. リストテキスト	39
b. リンクテキスト	40
b-1. 標準リンクテキスト	40
b-2. ビュレット付きリンクテキスト	41
b-3. メニューリスト	41
b-4. メニューリスト(アンカーリンク)	42
b-5. ユーティリティリンク	43
b-6. パンくずリスト	44
c. ボタン	44
c-1. プライマリーボタン	44
c-2. セカンダリーボタン	45
c-3. ターシャリーボタン	46
c-4. アンカーリンクボタン	47
c-5. タブボタン	48
c-6. スクロールトップボタン	49
d. アコーディオン	50
e. インプットテキスト	51
f. セレクトボックス	52
g. ラジオボタン	53
h. プログレスインジケーター	54
i. ヘッダー	55
i-1. パソコン版ヘッダー	56
i-1-1. ヘッダーコンテナ	57
i-1-2. ランゲージセクター	57
i-1-3. グローバルメニュー	58
i-2. スマートフォン版ヘッダー	59
i-2-1. ランゲージセクター	60
i-2-2. ハンバーガーメニューボタン	60
j. 緊急時バナー	61

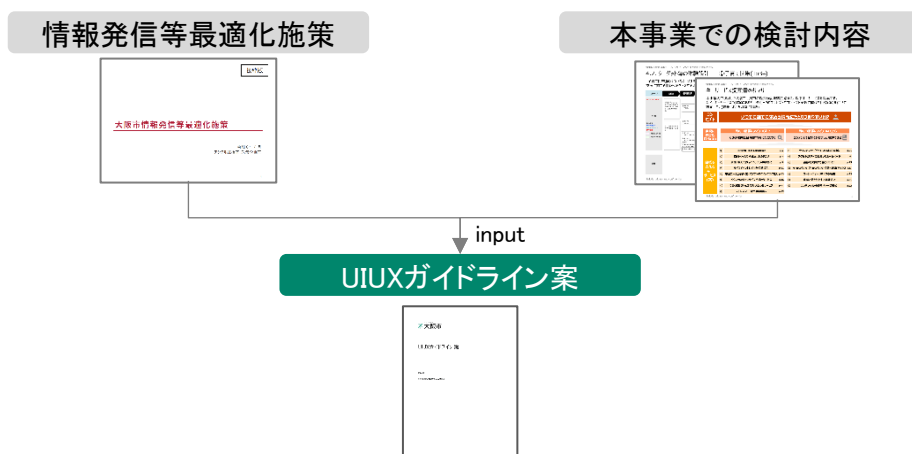
1. UIUXガイドラインについて

1. 本書の位置づけ
2. 本書作成の背景と目的
3. 留意事項

UIUXガイドラインについて

1. 本書の位置づけ

「UIUXガイドライン(案)」では、「令和6年度大阪市ホームページリニューアル要件定義等支援業務」での検討内容、及び「情報発信等最適化施策」に基づき、本市が次期ホームページにおいて、「いつでも誰でも求める情報にたどりつきやすいホームページ」を実現するためのUIUX方針について定めるものです。



2. 本書作成の背景と目的

現在、24区のホームページは各区で主体的に運用していますが、共通のデザインルールが存在しないため、市ホームページと区ホームページのデザインが異なり、統一感に欠ける状況となっています。それによって、ユーザーの「求める情報へのたどりつきやすさ」や「大阪市としてのブランディング」に影響を与えており、市として改善が必要と認識しています。よって、大阪市HPのデザインに関するルールを本ガイドラインに定めることにより、24区を含めた大阪市HPとしての統一感を担保することを目的とします。

3. 留意事項

本書2章及び3章1は、次期HPの設計・構築にあたり従うべき事項です。一方で、3章2以降は、コンセプトや基本方針を具体化した表現の例示です。実際のデザインは、設計・構築事業者が2章及び3章1を踏まえて最適なもの提案し、本市と協議しながら確定するものとします。

2. コンセプト

1. 大阪市がめざすホームページデザインと果たすべき役割
2. 大阪市と各区におけるトップページのデザインコンセプト

コンセプト

1. 大阪市がめざすホームページデザインと果たすべき役割

1.1 大阪市がめざすデザイン

**「いつでも、誰でも、どこからでも。
シンプルさと温かみが共存するデザイン。」**

どんなデバイスでも直感的に操作でき、さまざまなユーザーが迷わず目的を達成できるUIデザイン。必要な情報へ最短距離でたどりつける、すべてのユーザーに開かれたホームページを実現することで、時間や場所、利用環境を問わず、快適で負担をかけない体験を提供するためのUIデザイン。

1.2 大阪市のデザインが果たすべき役割

本市のUIデザインは、あらゆるユーザーがストレスなく必要な情報にたどり着ける「わかりやすさ」と「使いやすさ」を提供することが使命です。情報を簡潔かつ見やすく整理し、誰もが直感的に理解できるデザインを実現することで、ユーザーに安心感と利便性を届けます。

役割1

あらゆるユーザーが
求める情報に
ストレスなくたどり着ける

役割2

情報が
分かりやすく閲覧できる
(分かりやすい情報)

コンセプト

2. 大阪市と各区におけるトップページのデザインコンセプト

2.1 大阪市と各区のデザインコンセプト

「大阪市の顔、各区の個性。」

●大阪市

「大阪市の顔として、統一感と親しみやすさを届けるデザイン。」

政令指定都市として、多種多様なユーザーの「玄関口」となるべく、わかりやすく、親しみやすいデザインを実現します。

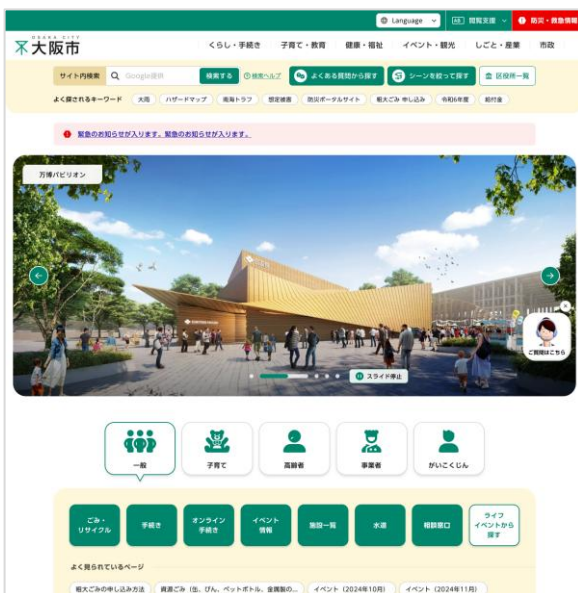
本市全体の統一感を大切にしながら、誰もが必要な情報にアクセスしやすい窓口をめざします。

●各区

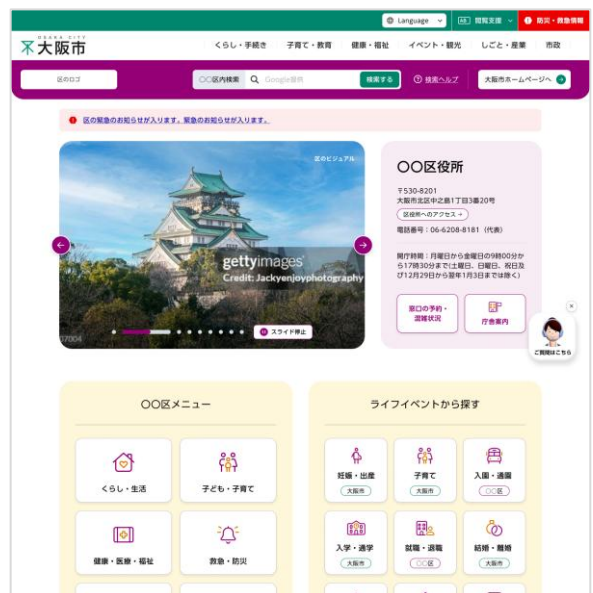
「大阪市の一部でありながら、独自性を際立たせるデザイン。」

本市全体の統一感を踏襲しつつ、各区が持つ個性や特色を最大限に表現するデザインを追求します。地域の住民や利用者に寄り添い、それぞれの区の魅力を引き立てる、柔軟かつ親しみのあるデザインをめざします。

[大阪市トップページ]



[各区トップページ]



3. デザインルール

1. 基本方針
2. レイアウト
3. インタラクションの考え方
4. カラー
 - a. カラースキーム
 - b. コントラスト比
5. タイポグラフィ
 - a. フォントファミリー
 - b. フォントサイズと行ボックスの高さ
6. エレベーション
7. 余白
8. 角の形状

デザインルール

1. 基本方針

ユーザーに等しく網羅的、
一元的にPULL型で情報を提供する市のチャネルをめざすために、

「いつでも誰でも求める情報にたどりつきやすいホームページ」を実現するデザインとする

大阪市と各区の統一性

大阪市HP全体で統一されたデザインを採用することで、一体感や規模の大きさを視覚的に表現します。さらに、統一デザインの中に各区ごとのカスタマイズ可能な要素を取り入れることで、各区の個性や特色を活かすことができます。これにより、全体としての統一感と各区の独自性をバランスよく表現することが可能です。

モバイルファースト

スマートフォンをはじめとするモバイル端末が全国的に普及しており、本市のHPにおいてもスマートフォンからの訪問数が全体の約7割を占めています。(2024年8月時点)
よって、パソコンでの閲覧を基本とするのではなく、まずスマートフォンなどのモバイル機器での閲覧を基本と考え、ホームページの設計を行います。
具体的には、「レスポンシブウェブデザイン」の技術を採用し、1つのHTMLでパソコン、タブレット、スマートフォンなど、それぞれの画面幅に最適化された画面が表示される仕組みによって運営します。

アクセシビリティへの配慮

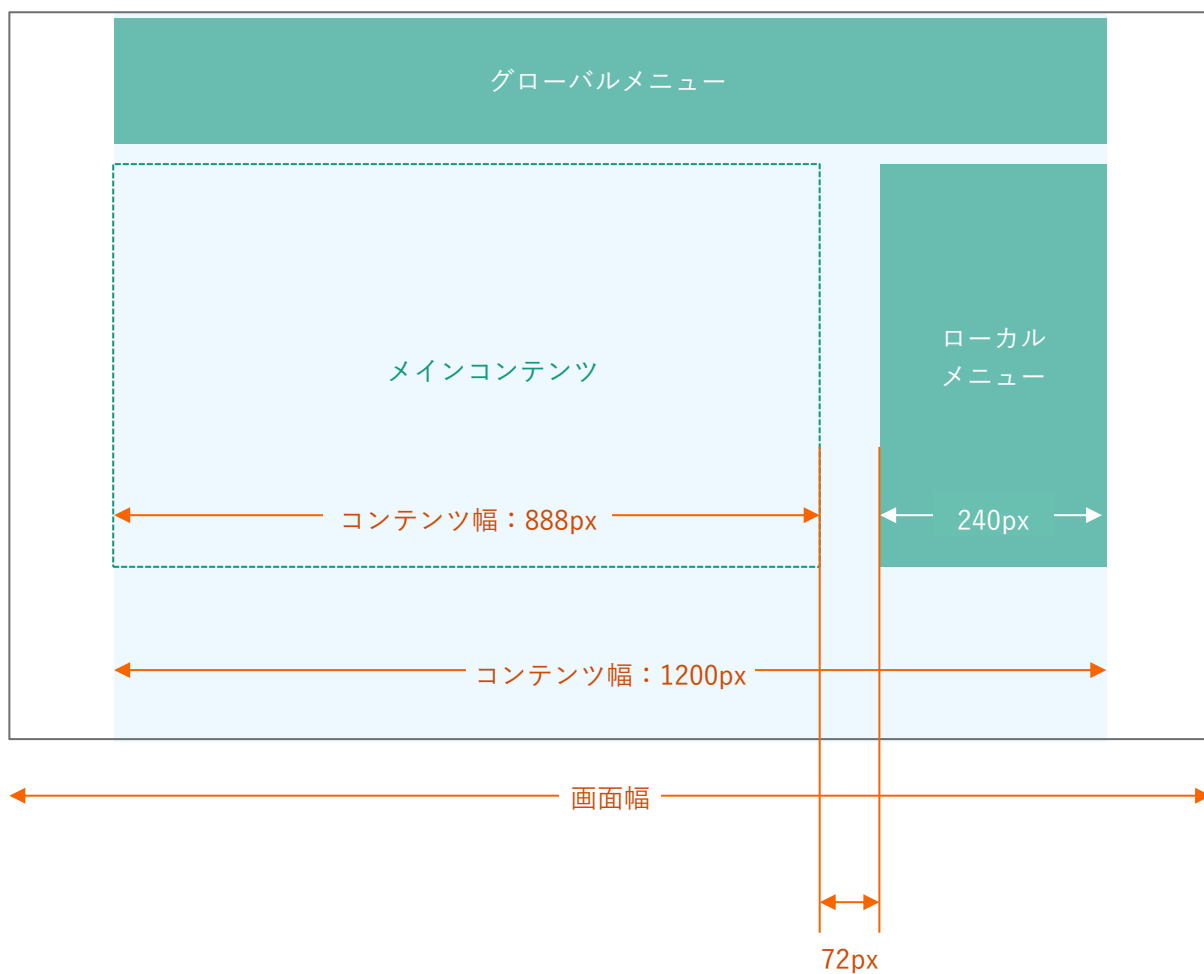
ウェブアクセシビリティとは、高齢者や障がい者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できることを意味します。
アクセシビリティに関し、本市では平成25年3月に「大阪市ウェブアクセシビリティ方針」を策定し、また、対応にあたり注意すべき点などを取りまとめた「大阪市ウェブアクセシビリティガイドライン」を用意しています。
ホームページコンテンツを作成する際は、これらの方針等に基づき、すべての人が利用しやすいホームページの実現に向けて取り組みます。

デザインルール

2. レイアウト

① パソコン

パソコンのコンテンツ幅は1,200pxとし、グローバルメニューはユーザーが迷わないよう画面上部に設置します。ローカルメニュー等のメニューを設ける場合は、メインの情報の邪魔にならないよう右サイドに設置します。

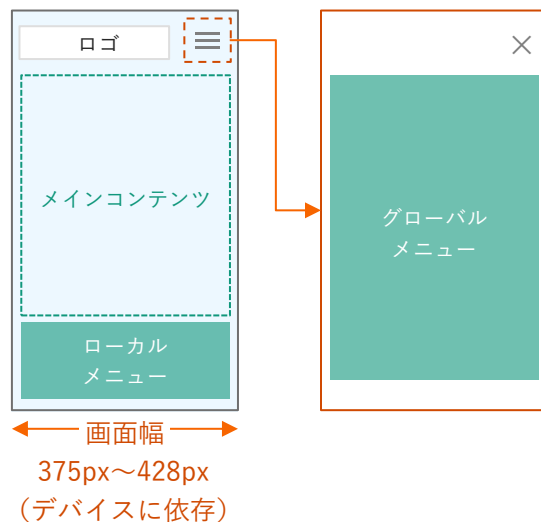


デザインルール

2. レイアウト

② スマートフォン

スマートフォンは画面が小さく、情報の表示領域が少ないため、グローバルメニューはメニューアイコン内に格納し、ローカルメニューはコンテンツ下部に表示します。



③ タブレット

タブレット表示の場合、グローバルメニューはパソコン同様に画面の上部に適用します。

コンテンツエリアはパソコンよりも表示領域が狭いため、ローカルメニューを配置する場合はコンテンツ下部に表示します。



デザインルール

3. インタクションの考え方

本ホームページにおける「インタクション」とは、ユーザーがホームページを操作した際の、ホームページからの反応（リアクション）を表現するアニメーション効果を指します。適した反応を表現することでユーザーの理解を促進し、ユーザビリティに寄与することを目的としています。

本ホームページにおいて、主に下記のようなインタクションを使用します。

種類	内容	使用例
クリックできる要素であることの示唆	視覚的な変化を用いることで、クリック、タップなどの操作ができる箇所であることを示し、ユーザーが目的を果たすための入り口であることを示唆する。	標準的なボタン、リンクテキスト、カード型リンク 等 
スクロール行為であることの示唆	ユーザーがページ内で迷わないことを目的とし、リンクの発動元と遷移先との関係性が直感的にわかるよう、対象要素にスクロール型のアニメーションを使用する。	アンカーリンク、ページトップに戻るボタン 等 

※ホバーとは、マウスがオブジェクトの上に乗った状態のことを指す

デザインルール

4. カラー

a コントラスト比

読みやすさ、見やすさを担保するために、下記コントラスト比を担保します。

JIS X 8341-3:2016のウェブアクセシビリティ適合レベルAAに準拠したコントラスト比を担保

- ・太字でないテキストが22ポイント(英語は18ポイント)未満の場合 4.5:1
- ・太字でないテキストが22ポイント(英語は18ポイント)以上の場合 3:1
- ・太字のテキストが18ポイント(英語は14ポイント)未満の場合 4.5:1
- ・太字のテキストが18ポイント(英語は14ポイント)以上の場合 3:1

出典:大阪市ウェブアクセシビリティガイドライン3.1を引用

例)

現行ホームページにおける大阪市のロゴカラーを用いると、上記基準が満たされないため、
ロゴの持つイメージは踏襲しつつ、上記基準が満たされるカラーに変更します。



デザインルール

4. カラー

b カラースキーム

① ベースカラー(市・区共通)

官公庁のホームページには多くの情報が載せられます。
各情報が見やすいよう、ベースカラーは白または薄いグレーとします。

カラースキーム	カラーの定義	カラー
ベースカラー	配色において最も大きな面積を占める色	<div><div></div>#FFFFFF</div> <div><div></div>#EFF2F6</div>

② メインカラー1(大阪市)

市のイメージを保つこと、既存のユーザーが混同しないことの2つの理由から、
現行ホームページと同じく、メインカラーには大阪市ロゴをベースとし、コントラスト比4.5:1を担保したグリーンを用います。

カラースキーム	カラーの定義	カラー
メインカラー1	ホームページ全体の印象を決定づける色	<div><div></div>#00866C</div>

③ メインカラー2(大阪市)

ユーザーに親しみ感を抱いてもらうため、温かみのある暖色のオレンジを装飾用のメインカラーとして設定します。
主にアイコンなどのビジュアル的な補足要素に用います。

カラースキーム	カラーの定義	カラー
メインカラー2	補足要素所で補助的に使用する色	<div><div></div>#DD7C00</div>

デザインルール

4. カラー

b カラースキーム

④ メインカラー(各区)

各区のメインカラーは、それぞれの区の特徴を加味した色を採用します。

区のロゴと現行HPのメインカラーより候補を選定し、最終的にはコントラストを担保できる色とします。

(新メインカラー案について、現行メインカラー継続の意向があれば、ふち取り等を対応することで継続利用も可能とします。)

区	ロゴ	現行メインカラー	新メインカラー案1	新メインカラー案2
旭区		 #960077	 #960077	 ロゴカラーの紫を採用 #6F1F94
阿倍野区		 #E51F54	 #E51F54	 ロゴカラーをコントラスト比に準拠する色に(現行と同様) #E51F54
生野区		 #561472	 #561472	 ロゴカラーの青を採用 #0C23A7
北区		 #243DA4	 #243DA4	 ロゴカラーの赤をコントラスト比に準拠する色に #DD1F31
此花区		 #354FB2	 #354FB2	 ロゴカラーの赤をコントラスト比に準拠する色に #EA180D
城東区		 #D62D8A	 #D62D8A	 #D62D8A
住之江区		 #206954	 #206954	 ロゴカラーの赤をコントラスト比に準拠する色に(左と同様) #D61000
住吉区		 #7B2A9E	 #7B2A9E	 ロゴカラーの青を採用 #112C8A
大正区		 #0455B6	 #0455B6	 キャラクターカラーのピンクをコントラスト比が担保できる色に #CC2E77
中央区		 #BF469B	 #BF469B	 ロゴのバンジーの色を採用 #042585
鶴見区		 #28A349	 #B70606	 ロゴカラーの赤をコントラスト比が担保できる色に #EB1515
天王寺区		 #292984	 #292984	 ロゴカラーの紺色を採用 #0008A7
浪速区		 #42341A	 #42341A	 ロゴカラーのオレンジをコントラスト比が担保できる色に #D34608
西区		 #0C78CB	 #0C78CB	 西区の花であるサクラのマークをコントラスト比が担保される彩度に #C14B4B

デザインルール

4. カラー

b カラースキーム

④ メインカラー(各区)

区	ロゴ	現行メインカラー	新メインカラー案1	新メインカラー案2
西成区		 #7A66D1	 #7A66D1	 ロゴカラーの紫を採用 #771592
西淀川区		 #ABCE05	 #D32F61	 ロゴカラーの赤をコントラスト 比に準拠する色に(左と同様) #D32F61
東住吉区		 #DA518E	 #D92475	 ロゴカラーの赤をコントラスト 比が担保できる色に #DD2112
東成区		 #FF8416	 #BF5100	 東成区の花であるバラと パンジーを彷彿させる 赤色に #A30000
東淀川区		 #0471AD	 #0471AD	 ロゴカラーの青を採用 #003CBF
平野区		 #0C4D78	 #0C4D78	 平野区をわたの花の中央から 茶色をピックアップ #833C2F
福島区		 #230060	 #230060	 ロゴカラーのふじ色を採用 #5550AD
港区		 #325CC8	 #325CC8	 港区の花であるヒマワリを彷彿 させるコントラストを担保し た色 #8D701B
都島区		 #3C5B88	 #3C5B88	 都島区の花であるサクラと コスモスを彷彿させるコント ラストを担保した色 #B00878
淀川区		 #B0E9FE	 #0C1692	 ロゴカラーの紺色を採用 (左と同様) #0C1692

※区のメインカラー 2 (補足要所で補助的に使用する色)は、区の裁量で決定できることとする

デザインルール


4. カラー

b カラースキーム

⑤ バックグラウンドカラー※（市・区共通）


ユーザーに親しみ感を抱いてもらうため、「安らぎ」や「家庭的」といった温かさを想起させるアイボリーをバックグラウンドカラーとして設定します。

※文字・装飾を目立たせるための要素・パーツに利用するカラー

カラースキーム	カラーの定義	カラー
バックグラウンドカラー	要所にて背景に使用する色	 #FFF7DA

⑥ エラー・注意喚起カラー（市・区共通）

注意喚起やエラーの通知などには、一般的な注意喚起カラーである彩度が高めの赤を使用します。

カラースキーム	カラーの定義	カラー
エラーカラー	エラーや注意を引きつける色	 #ED0000

デザインルール

5. タイポグラフィー

a フォントファミリー

ベースとなる日本語のフォントファミリーには、可読性の高いサンセリフ体※を使用します。
具体的には、見やすい書体として評価の高く、個々の文字のわかりやすさが追求された「UD新ゴ」を用います。
※サンセリフ体とは、セリフ(文字の先端の装飾)がない書体。セリフ体に比べるとシンプルな形をしています。

フォントファミリー	UD新ゴ(R, M, DB, B)
例) UD新ゴ(R)	2024年度！あべのdakaraをめぐるデジタルスタンプラリー第3弾はじまる！

b フォントサイズと行ボックスの高さ

読みやすいベースフォントサイズは16px(12pt)です。
ウィチタ州立大学Software Usability Research Labの調査によると、視力がやや低下した高齢者でも、16px以上のサイズであれば読みやすいと感じることが多いとされています。
また、Googleの「Material Design Guideline」ではBody1(ベースフォントサイズ)を16pxに設定しています。
以上の理由から、16px程度のフォントサイズがデフォルトとして適切であると考えられます。

	通常時		行ボックスの高さ (line-height)	拡大時
	パソコン	スマートフォン	パソコン/ スマートフォン	パソコン/ スマートフォン
大見出し(H1)	2.5rem(40px)	2rem(32px)	150%	通常時の 110%、120%、150%、 200% で拡大可能とする
中見出し(H2)	2rem(32px)	1.5rem(24px)	125%	
小見出し(H3)	1.25rem(20px)	1.125rem(18px)	150%	
本文(ベーステキスト)	1rem(16px)	1rem(16px)	150%~200% (本文標準値200%)	
補足テキスト	0.875rem(14px)	0.875rem(14px)	150%	
注釈	0.75rem(12px)	0.75rem(12px)	150%	

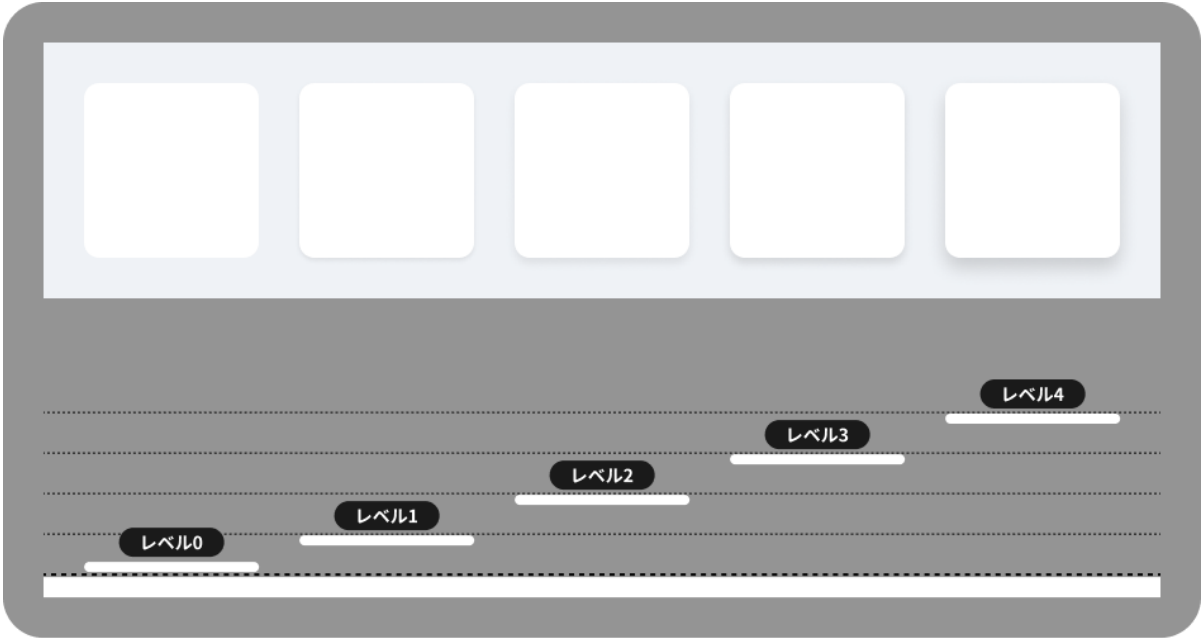
※remとはサイト制作で利用される、HTML要素のフォントサイズに対する相対的な大きさを示す単位のこと。上記は1rem=16pxとした場合で記載。

デザインルール

6. エレベーション

要素の「高さ」や「浮いている感覚」を視覚的に表現する概念です。影や陰影を利用して、要素が他のレイヤーよりも上に設置されていることを示します。
これにより、視覚的な階層を作り出し、重要な要素やアクションを際立たせることができます。

本ホームページでは、ユーザーがアクションするエリア（ボタンやリンクカードなど）、追従要素に用います。



	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
説明	エレベーションのデフォルト値です。デフォルト値をもつコンポーネントは、ブラウザ上で最も低く表示されます。	ユーザーアクションエリア（ボタンやリンクカード）に設置します。レベル1はエリアが狭い要素などに用います。	ユーザーアクションエリア（ボタンやリンクカード）に設置します。	ユーザーアクションエリア（ボタンやリンクカード）に設置します。特に優先度の高いエリアに用います。	追従ヘッダーやチャットボットなど、追従する要素に設置します。
適用例	<div>更新日：2024年10月2日</div> <div>戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求</div> <div>ページ番号：369852</div> <div>大阪市内に本籍地がある場合の、戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）の交付を請求するための手続きです。</div>	<div>婚姻届 出生届</div> <div>戸籍証明の交付請求に関すること</div> <div>結婚・離婚に関すること</div> <div>出生届・認知届</div> <div>養子に関すること</div> <div>戸籍の移動に関すること</div>	<div>戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求</div> <div>市長の部屋</div>	<div>一般 子育て</div>	<div>大阪市 Language 大阪府</div> <div>ご質問はこちら</div>

デザインルール

7. 余白

余白は、レイアウト内の要素間の空き領域を、情報伝達を明確にするために意図的に適用します。
本ホームページでは下記の目的で余白(margin)を適用します。

- 余白に一定のルールを持たせることで、さまざまな要素間の関係を示し、明確な視覚的階層を確立します
- 適切な余白で要素の間隔を保つことによりコンテンツの過密感を防ぎ、可読性を向上します
- デザイン全体で一貫したバランスの良い間隔を維持することで、統一感のあるデザインに仕上げ、ユーザーにとってより使いやすい体験を実現します

余白(margin)のルール

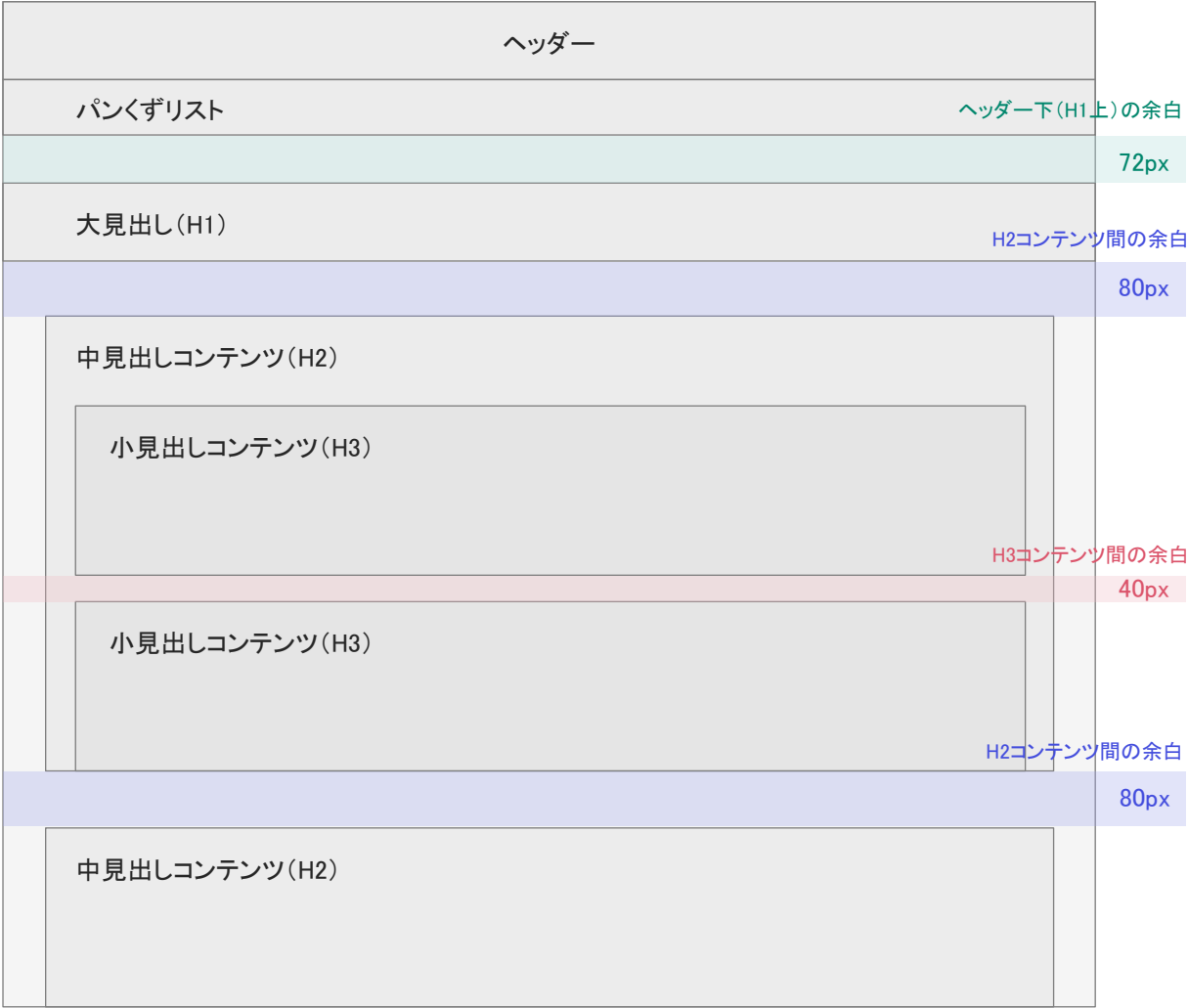
要素	余白箇所	余白の大きさ	
		PC	スマートフォン
大見出し(H1)	上部余白	72px	40px
	下部余白	24px以上を担保	20px以上を担保
中見出し(H2)	上部余白 (H2コンテンツ間の余白)	80px	64px
	下部余白	40px	28px
小見出し(H3)	上部余白 (H3コンテンツ間の余白)	40px	32px
	下部余白	20px	16px
単独コンテンツ ※H2 / H3に内包されないコンテンツ	上下余白 (単独コンテンツ間の余白)	48px	40px
カードモジュール	上下余白 (カードモジュール間の余白)	24px	20px

※marginとはUIパーツの外側の余白を指す
※padding(UIパーツの内側の余白)について各要素により確保される可能性があるが、一覧にまとめられないため記載しない

デザインルール

7. 余白

余白(margin)のルール例



デザインルール

7. 余白

余白(margin)のルール例[パソコン版デザイン]

Language

閲覧支援

防災・救急情報

OSAKA CITY

大阪市

くらし・手続き

子育て・教育

健康・福祉

イベント・観光

しごと・産業

市政

サイト内検索

Google提供

検索する

検索ヘルプ

よくある質問から探す

シーンを絞って探す

区役所一覧

大阪市トップ

くらし・手続き

手続き

戸籍

戸籍証明の交付請求

戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求

ヘッダー下部の余白

72px

戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求

ページ番号: 369852

更新日: 2024年10月2日

印刷

大阪市内に本籍地がある場合、戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）の交付を請求するための手続きです。

請求には、必要な戸籍の本籍および筆頭者の氏名の記入が必要となりますので、事前に確認しておいてください。

除籍・改製原戸籍謄抄本の交付請求については、「[除籍・改製原戸籍謄抄本の交付請求](#)」をご覧ください。

大阪市内の他市区町村の戸籍証明書を請求するための手続きについては、「[大阪市内の他市区町村の戸籍証明書の交付請求（戸籍証明書等の広域交付）](#)」をご覧ください。

重要なお知らせ

現在、戸籍情報連携システム（法務省）において一部の届出のデータ送信不具合が発生しております。そのため、本籍地以外の市区町村で婚姻届や死亡届などの戸籍の届出を行った場合に、本籍地での戸籍の記載処理に遅延等の影響が出ており、戸籍の届出をした後に、当該届出の内容が記載された戸籍全部事項証明書等の証明書発行をするまでに、数日から数週間のお時間がかかりますので、予めご了承ください。

詳しくは、本市ホームページ「[戸籍情報連携システム（法務省）](#)」における一部の届出のデータ送信不具合に伴う戸籍の記載処理の遅延等についてをご確認ください。

オンライン手続き

（行政オンラインシステム）

このページを見ている人はこんなページも見ています

・申請書・届出書様式（窓口用・郵使用）

・赤ちゃんが生まれたら

・結婚・離婚の届出には何が必要ですか？

・出生届のオンライン手続き

・本籍を移すとき、どのような手続きが必要ですか？

ライフイベントから探す

よくある質問から探す

シーンを絞って探す

探している情報が見つからない

情報が見つからない時は

単独コンテンツ間の余白

48px

48px

48px

H2コンテンツ間の余白

80px

80px

H2下部の余白

40px

40px

72px

目次

・手数料

・本人等による請求

・第三者（個人）による請求

・第三者（法人）による請求

・職務上請求（弁護士等による請求）

・郵送による請求（本人等による請求、第三者（個人）による請求、職務上請求）

・郵送による請求（第三者（法人）による請求）

・国または地方公共団体の機関からの請求（公用請求）

・証明書の交付に係る本人通知制度について

・戸籍のコンピュータ化について

・請求書のダウンロード

・お手続きに関するお問い合わせ先

手数料

1通につき450円

22

デザインルール

7. 余白

余白(margin)のルール例[パソコン版デザイン]

<ul style="list-style-type: none">手数料	H2下部の余白
1通につき450円	40px
	H2コンテンツ間の余白
	80px
<ul style="list-style-type: none">本人等による請求	H2下部の余白
	40px
<ul style="list-style-type: none">請求できる方 <ul style="list-style-type: none">本人、同一戸籍（配偶者等）の方、直系尊属（父母や祖父母）または直系卑属（子や孫）代理人（ご本人から委任を受けた方）や成年後見人等の法定代理人	H3コンテンツ間の余白
	40px
<ul style="list-style-type: none">請求方法 <ul style="list-style-type: none">窓口での請求コンビニ交付サービスを利用した請求（※マイナンバーカード（個人番号カード）をお持ちの方は、お近くのコンビニエンスストアで区役所の開庁している土日祝日、早朝や深夜にも戸籍全部事項証明書・戸籍個人事項証明書を お取りいただけます。）郵送による請求郵送による請求（海外からの請求）時間外窓口ボックスを利用した請求	H2コンテンツ間の余白
	80px
<ul style="list-style-type: none">請求書のダウンロード	H2下部の余白
	40px
<ul style="list-style-type: none">戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用） <div><div>戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用） PDF形式、255.23KB</div><div>戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用） XLSX形式、42.88KB</div><div>戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用）（記載例） PDF形式、270.02KB</div></div>	カードモジュール間の余白
	24px
<ul style="list-style-type: none">戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用） <div><div>戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用） PDF形式、38.56KB</div><div>戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用） XLSX形式、33.91KB</div><div>戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用）（記載例） PDF形式、77.27KB</div></div>	
	24px
<ul style="list-style-type: none">戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等請求書（事業者用） <div><div>戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等請求書（事業者用） PDF形式、11.34KB</div></div>	

デザインルール

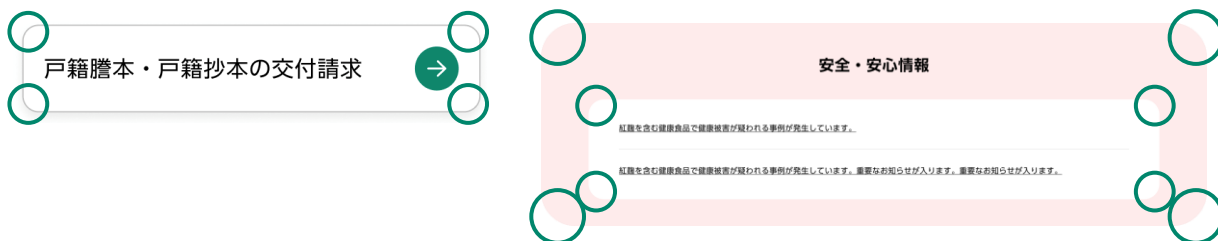
8. 角の形状

ボタンやカードなどのコンポーネントに適用する事によって画面の中で視覚的な抑揚を生み出し、コンポーネントの機能理解を促進したり任意のコンテンツを認知しやすくさせる事ができます。親しみ感のあるホームページをめざすため、基本的にボックスには角丸を適用します。

角の形状の種類

標準ボタン / 囲みエリア

角の形状は短辺に対して10-30%で設定を行う。



タグボタン

角の形状は短辺に対して50%で設定を行う。



タブボタン

角の形状は上部2カ所10-30%、下部2カ所は0%で設定を行う。



4. デザイン

1. パソコン版

- a. 市トップページ
- b. 区トップページ
- c. コンテンツページ

2. スマートフォン版

- a. 市トップページ
- b. 区トップページ
- c. コンテンツページ

3. UIパーツ

a. 見出しとテキスト

- a-1. 大見出し(H1)
- a-2. 中見出し(H2)
- a-3. 小見出し(H3)
- a-4. 標準テキスト
- a-5. リストテキスト

b. リンクテキスト

- b-1. 標準リンクテキスト
- b-2. ビュレット付きリンクテキスト
- b-3. メニューリスト
- b-4. メニューリスト(アンカーリンク)
- b-5. ユーティリティリンク
- b-6. パンくずリスト

c. ボタン

- c-1. プライマリーボタン
- c-2. セカンダリーボタン
- c-3. ターシャリーボタン
- c-4. アンカーリンクボタン
- c-5. タブボタン
- c-6. スクロールトップボタン

d. アコーディオン

e. インプットテキスト

f. セレクトボックス

g. ラジオボタン

h. プログレスインジケーター

i. ヘッダー

i-1. パソコン版ヘッダー

i-1-1. ヘッダーコンテナ

i-1-2. ランゲージセクター

i-1-3. グローバルメニュー

i-2. スマートフォン版ヘッダー

i-2-1. ランゲージセクター

i-2-2. ハンバーガーメニューボタン

j. 緊急時バナー

デザイン

1. パソコン版

a. 市トップページ

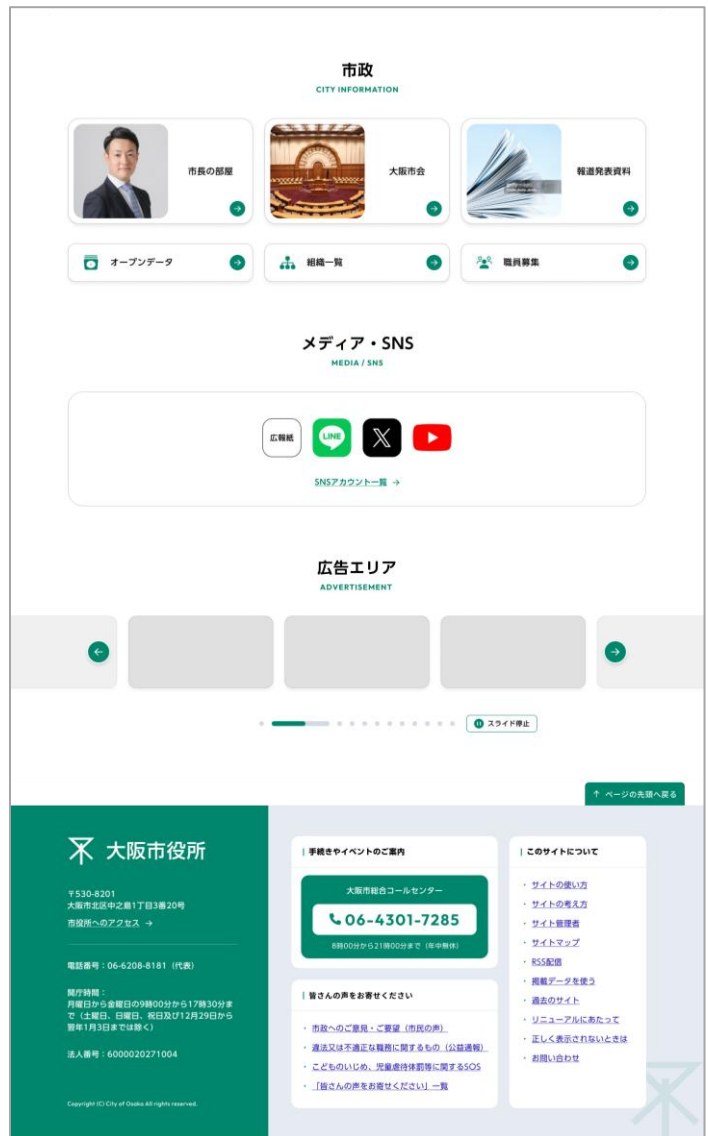
- 【ポイント】
- 全体的に角丸や弧を適用し、親しみ感を感じられるトーン&マナーに
 - ユーザー検索エリアでは、共通してバックグラウンドカラーであるアイボリーの背景を適用
 - アクションエリア(ボタンやカード)にはエレベーション(ドロップシャドウ)を採用



デザイン

1. パソコン版

a. 市トップページ



デザイン

1. パソコン版

a. 区トップページ

【ポイント】

- 区のページは全体的に「各区のメインカラー」を使用する
- 「ライフイベントから探す」や「お知らせ」に設置しているボタンやリンクについて、市のカテゴリ・コンテンツには市のアイコンを、区のカテゴリ・コンテンツには区のアイコンを、一目でわかるようそれぞれのメインカラーを適用して設置



デザイン

1. パソコン版

c. コンテンツページ

- 【ポイント】
- 大見出し(H1)、中見出し(H2)、小見出し(H3)のタイトルを内容の階層構造がわかりやすいようデザインし、各コンテンツごとに適切な余白を設置
 - ボタンなどのアクションエリアにはエレベーション(ドロップシャドウ)を採用
 - ドキュメント形式がわかりやすいよう、文書にはドキュメントアイコンを設置

H1

H2

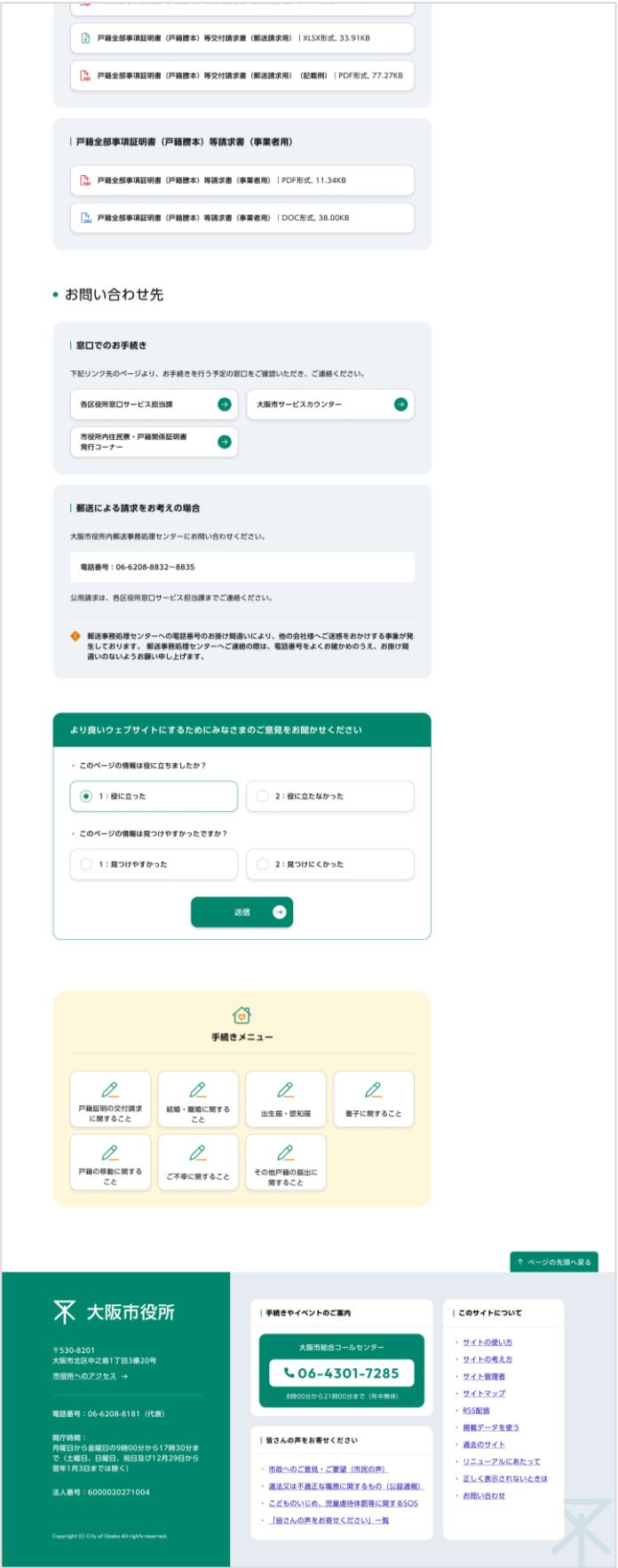
H2
H3



デザイン

1. パソコン版

c. コンテンツページ



デザイン

2. スマートフォン版

a. 市トップページ



【ポイント】

- 「セミパーソナライズ」(「サービス・手続き」見出しの下部)の切り替えが分かりやすいよう、アイコンを目立たせて設置
- 「新着情報」の「カテゴリ切り替え部分」は、一般的にスマートフォンページで使われる横スクロール型ではなく、一覧性を重視したデザインとし、タブと情報がリンクしているように見えるよう、情報の背景部分をタブボタンエリアにかぶせたデザインに

デザイン

2. スマートフォン版

b. 区トップページ



- 【ポイント】
- 「〇〇区メニュー」は区のメインメニューであることを分かりやすくするために、1カラム※を適用し、大きく配置
 - 一方、「ライフイベントから探す」は一覧性を重視して3カラムを適用

※カラムとは、WEBデザインにおいて「列」の意味を持つ33

デザイン

2. スマートフォン版

c. コンテンツページ

大阪府

市区・町村別 Language

メニュー

Google提供 検索 検索ヘルプ

更新日：2024年10月2日

戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求

ページ番号：369852

大阪市内に本籍地がある場合の、戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）の交付を請求するための手続きです。

請求には、必要な戸籍の本籍および筆読者の氏名の記入が必要となりますので、事前に確認しておいてください。

除籍・改製原戸籍謄抄本の交付請求については、「[除籍・改製原戸籍謄抄本の交付請求](#)」をご覧ください。

大阪市内の他市区町村の戸籍証明（[この欄はこちら](#)）
大阪市内の他市区町村の戸籍証明（[この欄はこちら](#)）
市区町村の戸籍証明書の交付請求（[戸籍証明書等の広域交付](#)）」をご覧ください。

重要なお知らせ

現在、戸籍情報連携システム（法務省）において一部の届出のデータ送信不具合が発生しております。そのため、本籍地以外の市区町村で婚姻届や死亡届などの戸籍の届出を行った場合に、本籍地での戸籍の記載処理に遅延等の影響が出ており、戸籍の届出をした後に、当該届出の内容が記載された戸籍全部事項証明書等の証明書発行をするまでに、数日から数週間のお時間がかかりますので、予めご了承ください。

詳しくは、本市ホームページ「[戸籍情報連携システム（法務省）](#)」における一部の届出のデータ送信不具合に伴う戸籍の記載処理の遅延等について」をご確認ください。

目次

手数料

本人等による請求

第三者（個人）による請求

第三者（法人）による請求

職務上請求（弁護士等による請求）

郵送による請求（本人等による請求、第三者（個人）による請求、職務上請求）

郵送による請求（第三者（法人）による請求）

国または地方公共団体の機関からの請求（公用請求）

証明書の交付に係る本人通知制度について

戸籍のコンピュータ化について

請求書のダウンロード

お手続きに関するお問い合わせ先

手数料

1通につき450円

本人等による請求

請求できる方

本人、同一戸籍（配偶者等）の方、直系尊属（父母や祖父母）または直系尊属（子や孫）

代理人（ご本人から委任を受けた方）や成年後見人等の法定代理人

請求方法

窓口での請求

コンビニ交付サービスを利用した請求（※マイナンバーカード（個人番号カード）をお持ちの方は、お近くのコンビニエンスストアで区役所の開庁している土日祝日、早朝や深夜にも戸籍全部事項証明書・戸籍個人事項証明書が取りいただけます。）

郵送による請求

郵送による請求（海外からの請求）

時間外窓口ボックスを利用した請求

請求書のダウンロード

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用）

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用） | PDF形式、255.23KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用） | XLSX形式、42.88KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用）（記載例） | PDF形式、270.02KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用）

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用） | PDF形式、38.56KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用） | XLSX形式、33.91KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用）（記載例） | PDF

33.91KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（郵送請求用）（記載例） | PDF形式、77.27KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等請求書（事業者用）

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等請求書（事業者用） | PDF形式、11.34KB

戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等請求書（事業者用） | DOC形式、38.00KB

お問い合わせ先

窓口でのお手続き

下記リンク先のページより、お手続きを行う予定の窓口をご確認いただき、ご連絡ください。

各役所窓口サービス担当課

大阪市サービスカウンター

市役所内住民課、戸籍関係証明書発行コーナー

郵送による請求をお考えの場合

大阪市内郵便局郵便センターにお問い合わせください。

電話番号：06-6208-8832-8835

公用請求は、各区役所窓口サービス担当課までご連絡ください。

郵送事務処理センターへの電話番号等のお問い合わせにより、他の会社へご連絡をおかけする事象が発生しております。郵送事務処理センターへご連絡の際は、電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

このページの情報は役に立ちましたか？

1：役に立った

2：役に立たなかった

このページの情報は見つけやすかったですか？

このページの情報は見つけやすかったですか？

1：見つけやすかった

2：見つけにくかった

送信

手続きメニュー

戸籍証明の交付請求に関すること

結婚・離婚に関すること

出生届・認知届

養子に関すること

戸籍の移動に関すること

ご不幸に関すること

その他戸籍の届出に関すること

オンライン手続き（行政オンラインシステム）

このページを見ている人はこんなページも見ています

申請書・届出書様式（窓口用・郵便用）

赤ちゃんが生まれたら

結婚・離婚の届出には何が必要ですか？

出生届のオンライン手続き

本籍を移すとき、どのような手続きが必要ですか？

ライフイベントから探す

よくある質問から探す

シーンを絞って探す

探している情報が見つからない

情報が見つからない時は

探している情報が見つからない

情報が見つからない時は

ページの先頭へ戻る

手続きやイベントのご案内

大阪府総合コールセンター

06-4301-7285

8時00分から21時00分まで（年中無休）

皆さんの声をお寄せください

このサイトについて

大阪府役所

〒530-8201
大阪府北区中之島1丁目3番20号
市役所へのアクセス →

電話番号：06-6208-8181（代表）

開庁時間：
月曜日から金曜日の9時00分から17時30分まで（土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から翌年1月3日までを除く）

法人番号：6000020271004

Copyright (C) City of Osaka All rights reserved.

【ポイント】

- タイトルとコンテンツが離れすぎないように、スマートフォン版では「更新日」をページタイトル上に設置
- 目次部分は各項目間に罫線を設置し、タップエリアがわかりやすくなるように設計

34

デザイン

3. UIパーツ

a. 見出しとテキスト

見出しは段落やエリアの分けけを視覚的に明確にするだけではなく、その見出し配下の情報の重要性や機能・目的などを明確にユーザーに伝えるものです。そのため、見出しは一定のルールに沿って展開される必要があり、テキストは分かりやすく簡潔に記載します。

a-1. 大見出し(H1)

大見出し(H1)は主にページのタイトルに用います。

・パソコン

フォントサイズ: 2.5rem (40px)

戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求

戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求

padding 16px
margin 24px

・スマートフォン

フォントサイズ: 2rem (32px)

戸籍謄本・戸籍抄本の
交付請求

戸籍謄本・戸籍抄本の
交付請求

行ボックスの高さ
(line-height)
150%

padding 12px
margin 20px

デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォント ウェイト	行ボックスの高さ (line-height)
パソコン	2.5rem (40px)	■ #222222	M	150%
スマートフォン	2rem (32px)			

※marginとはUIパーツの外側の余白を指し、paddingとはUIパーツの内側の余白を指す

デザイン

3. UIパーツ

a. 見出しとテキスト

a-2. 中見出し(H2)

・パソコン

- 本人等による請求



・スマートフォン

- 本人等による請求



デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	行ボックスの高さ (line-height)
パソコン	2rem (32px)	■ #000000	R	125%
スマートフォン	1.5rem (24px)			

デザイン

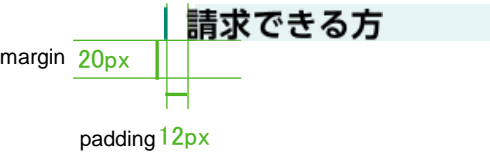
3. UIパーツ

a. 見出しとテキスト

a-3. 小見出し(H3)

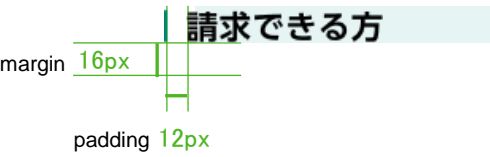
・パソコン

請求できる方



・スマートフォン

請求できる方



デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォント ウェイト	行ボックスの高さ (line-height)
パソコン	1.25rem (20px)	 #000000	DB	150%
スマートフォン	1.125rem (18px)			

デザイン

3. UIパーツ

a. 見出しとテキスト

a-4. 標準テキスト

本文など、標準で使われるテキストです。


大阪市内に本籍地がある場合の、戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）の交付を請求するための手続きです。

請求には、必要な戸籍の本籍および筆頭者の氏名の記入が必要となりますので、事前に確認しておいてください。

デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	行ボックスの高さ (line-height)
パソコン	1rem(16px)	 #000000	R	150%～200% ※本文標準値200%
スマートフォン				

a-5. リストテキスト

- ・ 本人、同一戸籍（配偶者等）の方、直系尊属（父母や祖父母）または直系卑属（子や孫）
- ・ 代理人（ご本人から委任を受けた方）や成年後見人等の法定代理人

- ・ 本人、同一戸籍（配偶者等）の方、直系尊属（父母や祖父母）または直系卑属（子や孫）
 - ・ 代理人（ご本人から委任を受けた方）や成年後見人等の法定代理人
-  margin 8px

デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	行ボックスの高さ (line-height)	ビュレットカラー
パソコン	1rem(16px)	 #000000	R	200%	 #000000
スマートフォン					

デザイン

3. UIパーツ

b. リンクテキスト

リンクテキストには下線を設置し、リンクであることを明示します。

リンクテキストはリンクカラーを変更することで、ユーザーにリンクのステート(状態)を示すことができます。基本的にリンクテキストのステートは下記によって表現します。

未訪問の場合

紅麹を含む健康食品で健康被害が疑われる事例が発生しています。

フォントカラー



#1A0DAB

訪問済みの場合

紅麹を含む健康食品で健康被害が疑われる事例が発生しています。

フォントカラー



#681DA8

訪問済みの場合のリンクテキストカラーを変更することで、ユーザーはどのリンクが閲覧済みかどうかを簡単に把握することができます。

デザイン

3. UIパーツ

b. リンクテキスト

b-1. 標準リンクテキスト

標準リンクテキストは、本文内でのリンクまたは、お知らせ等のリンクに用います。

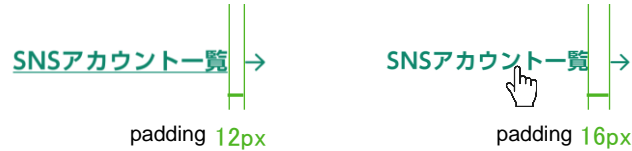
[紅麹を含む健康食品で健康被害が疑われる事例が発生しています。](#)

[紅麹を含む健康食品で健康被害が疑われる事例が発生しています。](#)

デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	行ボックスの高さ (line-height)	インタラクション
パソコン	1rem(16px)	 #1A0DAB	R～M	150%	 #00866C に変化
スマートフォン					

b-2. ビュレット付きリンクテキスト

ビュレット付きリンクテキストは、一覧ページへの遷移など、より詳細を見たい場合等に用います。
テキストの右側に右向きのビュレットを設置します。



デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	行ボックスの高さ (line-height)	インタラクション
パソコン	1rem(16px)	 #00866C	M～DB	150%	・ 下線がとれる ・ ビュレットが 4px右に移動
スマートフォン		 #FFFFFF ※背景が濃い場合			

デザイン

3. UIパーツ

b. リンクテキスト

b-3. メニューリスト

- 申請書・届出書様式（窓口用・郵便用）
 - 赤ちゃんが生まれたら
 - 結婚・離婚の届出には何が必要ですか？
- 申請書・届出書様式（窓口用・郵便用）
 - 赤ちゃんが生まれたら
 - 結婚・離婚の届出には何が必要ですか？

margin16px

margin16px
- 申請書・届出書様式（窓口用・郵便用）
 - 赤ちゃんが生まれたら
 - 結婚・離婚の届出には何が必要ですか？

デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	行ボックスの高さ (line-height)	ビュレットカラー	インタラクシオン
パソコン	1rem (16px)	 #1A0DAB	R	150%	 #00866C	 #00866Cに変化
スマートフォン						

b-4. メニューリスト(アンカーリンク)

リスト型リンクテキストをアンカーリンクとして用いる場合は、テキストの右側に下向きのビュレットを設置します。

- 手数料 ▾
 - 本人等による請求 ▾
 - 第三者（個人）による請求 ▾
- 手数料 ▾
 - 本人等による請求 ▾
 - 第三者（個人）による請求 ▾

margin16px

margin16px
- 手数料 ▾
 - 本人等による請求 ▾
 - 第三者（個人）による請求 ▾

デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	行ボックスの高さ (line-height)	ビュレットカラー	インタラクシオン
パソコン	1rem (16px)	 #1A0DAB	R	150%	 #00866C	 #00866Cに変化
スマートフォン						

デザイン

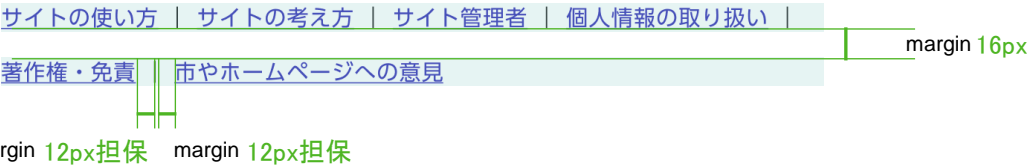
3. UIパーツ

b. リンクテキスト

b-5. ユーティリティリンク

ユーティリティリンクは、常備されるべき機能やリンクに素早くアクセスできるように設置します。

[サイトの使い方](#) | [サイトの考え方](#) | [サイト管理者](#) | [個人情報の取り扱い](#) |
[著作権・免責](#) | [市やホームページへの意見](#)



[サイトの使い方](#) | [サイトの考え方](#) | [サイト管理者](#) | [個人情報の取り扱い](#) |
[著作権・免責](#) | [市やホームページへの意見](#)

デバイス	フォントサイズ	フォントカラー	フォント ウェイト	行ボックスの高さ (line-height)	インタラクション
パソコン	1rem(16px)	 #1A0DAB	R	150%	 #00866Cに変化
スマートフォン					

デザイン

3. UIパーツ

b. リンクテキスト

b-6. パンくずリスト




現在のページがホームページ内のどの位置にあるかを示すパーツです。
ユーザーが迷わず前後のページに遷移できる役割を果たします。

[大阪市トップ](#) ・ [くらし・手続き](#) ・ [手続き](#) ・ [戸籍](#) ・ [戸籍証明の交付請求](#) ・ [戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求](#)

[大阪市トップ](#)  [くらし・手続き](#) ・ [手続き](#) ・ [戸籍](#) ・ [戸籍証明の交付請求](#) ・ [戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求](#)

margin 12px担保 margin 12px担保

[大阪市トップ](#) ・ [くらし・手続き](#) ・ [手続き](#) ・ [戸籍](#) ・ [戸籍証明の交付請求](#) ・ [戸籍謄本・戸籍抄本の交付請求](#)

デバイス	フォント サイズ	リンク フォントカラー	カレント フォントカラー	フォント ウェイト	行ボックス の高さ (line-height)	インタラク ション
パソコン	0.875rem (14px)			M	150%	
スマートフォン		#1A0DAB	#666666			#00866Cに 変化

デザイン

3. UIパーツ

c. ボタン

ボタンは大量の情報の中から、ユーザーにとって特に必要かつ重要な導線要素を分かりやすく提供するために重要な要素です。そのため、ボタンは識別されるために必要十分な存在感と、「ボタンである」ということを瞬時的に認識させる必要があります。そのためドロップシャドウを適用し、高さレベルを上げて表現します。

c-1. プライマリーボタン

ページ内で重要な選択肢やアクション、確認が必要な場合等に適用します。
ボタンの高さは72px以上を担保し、目立つよう塗りで表現します。



フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	ボタンカラー	インタラクション
0.875～1.125rem (14～18px)	<div></div> #FFFFFF	R	<div></div> #00866C	<ul style="list-style-type: none"><div></div> #006D58に変化ビュレットが4px右に移動ドロップシャドウ削除

適用例)



デザイン

3. UIパーツ

c. ボタン

c-2. セカンダリーボタン

セカンダリーボタンはプライマリー以外の選択肢を提供します。
ボタンの高さは72px以上を担保します。



フォントサイズ	フォント カラー	フォント ウェイト	ボタン カラー	ボーダー カラー	インタラクション
1～1.125rem (16～18px)	 #000000	R～M	 #FFFFFF	 #C3C3C3	<ul style="list-style-type: none"> #F4F6F9に変化ビュレットがある場合は4px右に移動ドロップシャドウ削除

適用例)



戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用） | PDF形式, 255.23KB



戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用） | XLSX形式, 42.88KB



戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等交付請求書（窓口請求用）（記載例） | PDF形式, 270.02KB

各区役所窓口サービス担当課



大阪市サービスカウンター



市役所内住民票・戸籍関係証明書
発行コーナー



暮らし・生活



子ども・子育て



健康・医療・福祉



救急・防災



イベント・講座情報



〇〇〇〇

デザイン

3. UIパーツ

c. ボタン

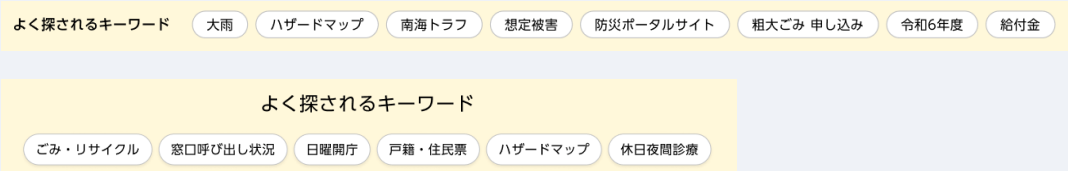
c-3. ターシャリーボタン

ターシャリーボタンはタグなど、細かな要素をボタンにする際等に用います。
ユーザーが操作しやすいよう、ボタンの高さは40pxを推奨します。
ヘッダー等の狭いエリアで利用する場合でも、28px以上を担保します。



フォントサイズ	フォント カラー	フォント ウェイト	ボタン カラー	ボーダー カラー	インタラクション
1rem (16px)	 #000000	R	 #FFFFFF	 #C3C3C3	<ul style="list-style-type: none"> #F4F6F9に変化ドロップシャドウ削除

適用例)



デザイン

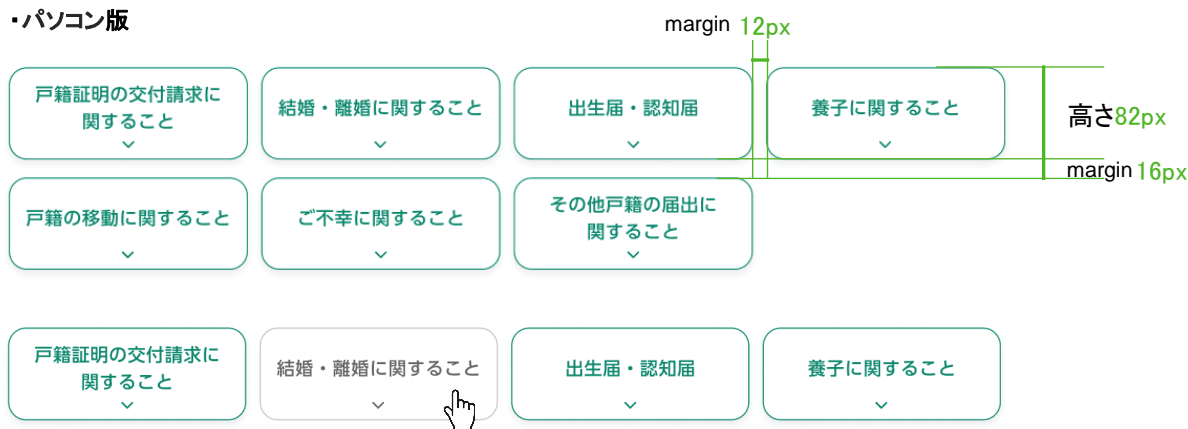
3. UIパーツ

c. ボタン

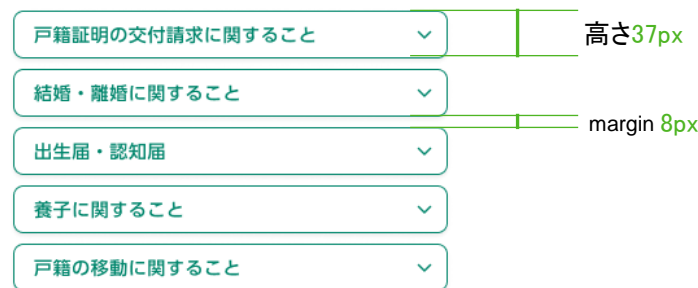
c-4. アンカーリンクボタン






アンカーリンクボタンはページ内でスクロールしリンクさせる際に用います。
数が多くなる可能性があることからミニマムなサイズで設定しますが、ユーザーが操作しやすいよう、ボタンの高さは36px以上を担保します。

・パソコン版



・スマートフォン版



フォント サイズ	フォント カラー	フォント ウェイト	ボタン カラー	ボーダー カラー	インタラクション
0.875～ 1rem (14～16px)	 #00866C	M	 #FFFFFF	 #00866C	<ul style="list-style-type: none">・ フォントが  #666666 に変化・ ボーダーが  #C3C3C3 に変化・ ドロップシャドウ削除

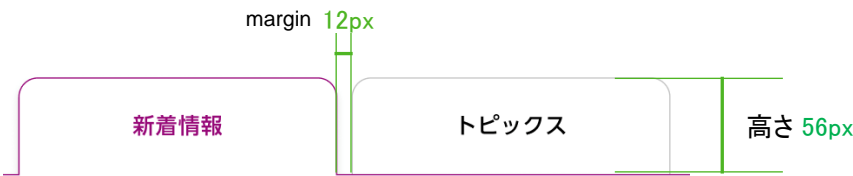
デザイン

3. UIパーツ

c. ボタン

c-5. タブボタン

タブボタンは、異なるコンテンツや機能を切り替えるためのボタンです。
これにより、ユーザーはページを遷移することなく、必要な情報に迅速にアクセスできるようになります。
並列性を担保する意味合いで、同一モジュール内のタブサイズは一律とし、ボタンの高さは56px以上を担保します。タブボタン間の余白(margin)は12px以上を担保します。

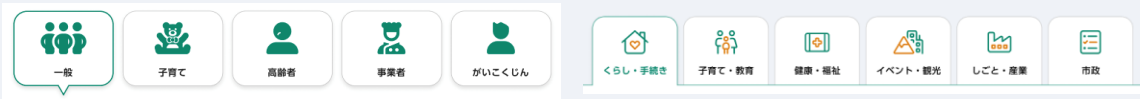


ステータス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	ボタンカラー	ボーダーカラー
選択時	0.875～ 1.125rem (14～18px)	各ページのメイン カラー / ■ #000000	M～DB		各ページの メインカラー
非選択時		■ #000000 ■ #222222		#FFFFFF	#C3C3C3

スマートフォンにおいて、タブ要素が多く画面内に横一列で適用できない場合、一覧性を重視し、2カラム・下積みにて表現する。



使用例)



デザイン

3. UIパーツ

c. ボタン

c-6. スクロールトップボタン

ページの最上部に素早く戻るためのパーツです。特に長いページで利便性を発揮します。
フッターの上部に設置します。



フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	ボタンカラー
1rem (16px)	<div></div> #FFFFFF	M	各ページの メインカラー

デザイン



3. UIパーツ

d. アコーディオン

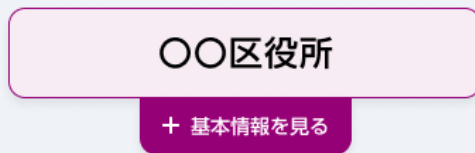
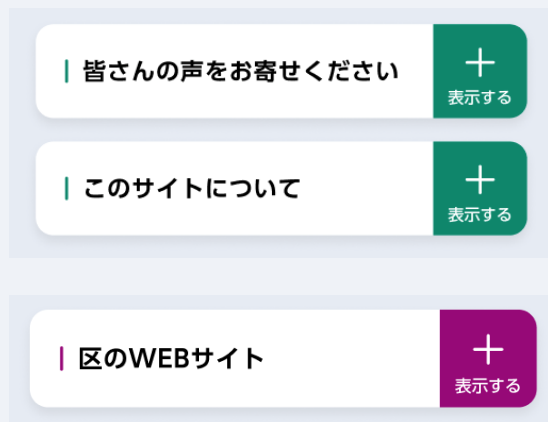
アコーディオンは、ユーザーがコンテンツのセクションを展開または折りたたむことができるユーザーインターフェースです。

項目をコンパクトにリスト化しつつページ遷移せず関連情報を適用したいという要求に対応します。

本ホームページでは「適用する(開く)」を「+」アイコンで、「閉じる」を「-」アイコンを用い、インターフェイスの動きを補助します。

 表示する	アコーディオンを開くことを表現
 閉じる	アコーディオンを閉じることを表現

使用例)



デザイン

3. UIパーツ

e. インプットテキスト

ユーザーが情報を入力するためのパーツです。フォームや検索バーで使われる要素です。
入力エリアの高さは40px以上を担保するものとし、推奨値として48pxを設定します。

デフォルト

プレースホルダー




高さ48px

フォーカス時

|

入力済

入力済

フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	エリアカラー	ボーダーカラー
1rem (16px)	 #000000	R	 #FFFFFF	 #C3C3C3

使用例)

サイト内検索



Google提供

検索する

〇〇区内検索



Google提供

検索する

デザイン

3. UIパーツ

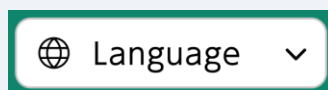
f. セレクトボックス

セレクトボックスは、複数の選択肢を提供するフォームコントロールです。
エリアの高さは36px以上を担保します。



フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	エリアカラー	ボーダーカラー
1rem (16px)	 #000000	R～M ※標準値 R	 #FFFFFF	 #C3C3C3  #00866C ※標準値#C3C3C3

使用例)



デザイン

3. UIパーツ

g. ラジオボタン

複数の選択肢から1つだけ選択する場合に適用するパーツです。
ユーザーは選択状態が一目でわかることができます。

デフォルト

☐ 1：役に立った

高さ72px

選択時

☒ 1：役に立った

ステータス	フォントサイズ	フォントカラー	フォントウェイト	ボタンカラー	ボーダーカラー
デフォルト	1rem (16px)	 #000000	R～M	 #FFFFFF	 #C3C3C3
選択時					各ページの メインカラー

使用例)

・ このページの情報は役に立ちましたか？

☒ 1：役に立った

☐ 2：役に立たなかった

・ このページの情報は役に立ちましたか？

☒ 1：役に立った

☐ 2：役に立たなかった

デザイン

3. UIパーツ

h. プログレスインジケータ

プロセスを実行していること、今どの位置にいるか等をユーザーに明示するパーツです。

今回はカルーセル部分で、

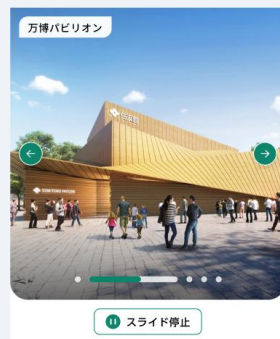
- ・ 全体でいくつスライドがあるのか
- ・ あとどのくらいで適用が変わるのか

をユーザーに伝えます。

また、以下の機能もプログレスインジケータと共に設置します。

- ・ ユーザーが任意で見たいスライドにアクセスできるよう矢印を適用
- ・ ユーザーがスライドするスライドを止められるよう「スライド停止」ボタンを適用

使用例)



デザイン

3. UIパーツ

i. ヘッダー

ホームページ全体で共通して適用されるパーツです。

利便性の高い機能が集中して設置され、主要カテゴリ等に簡単にアクセスする役割を担います。

ヘッダーには下記の要素等が入ります。

- ・ヘッダーコンテナ
- ・ロゴ
- ・グローバルメニュー
- ・検索機能
- ・ハンバーガーメニュー

・パソコン版



・スマートフォン版



デザイン

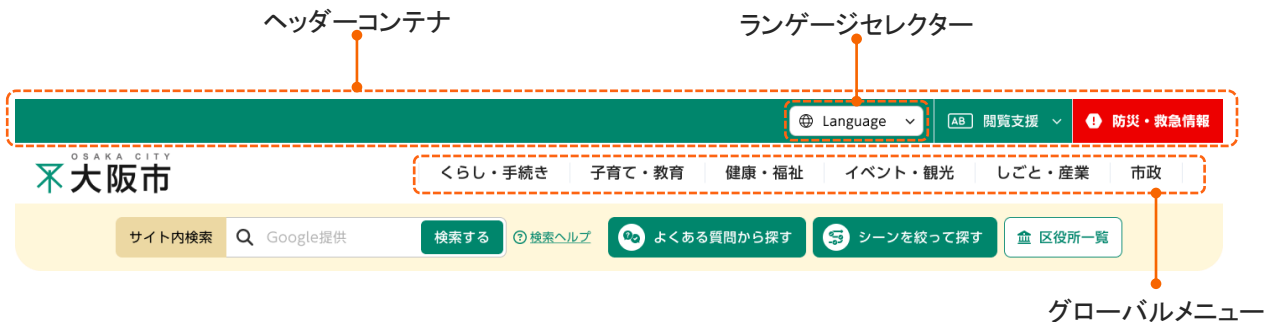
3. UIパーツ

i. ヘッダー

i-1. パソコン版ヘッダー

パソコン版ヘッダーには下記の要素等が入ります。

- ・ ヘッダーコンテナ
- ・ ランゲージセクター
- ・ グローバルメニュー
- ・ ロゴ
- ・ 検索機能



デザイン

3. UIパーツ

i. ヘッダー

i-1. パソコン版ヘッダー

i-1-1. ヘッダーコンテナ

ヘッダーコンテナは、ヘッダーに含まれるアイテムとして使う、さまざまなコンポーネントが内包されます。多くのコンポーネントを格納可能であるため、エリアで区切って示しています。

本ホームページではヘッダーコンテナに下記の要素を設置します。

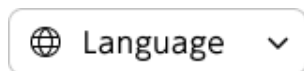
- ・ランゲージセレクトター
- ・閲覧支援
- ・防災・救急情報



i-1-2. ランゲージセレクトター

ランゲージセレクトターはユーザーがコンテンツを適用するために優先言語を選択できるようにするユーザーインターフェイス要素です。

言語変更をしたいユーザーのため、ページの一番上ヘッダー内に設置します。



デザイン

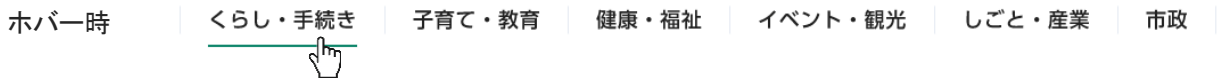
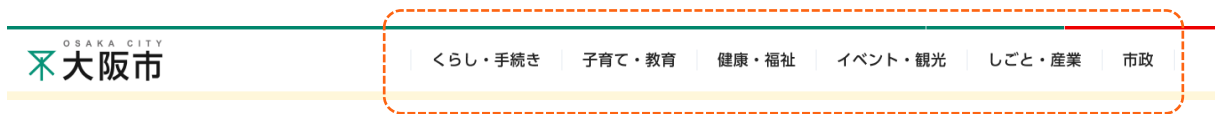
3. UIパーツ

i. ヘッダー

i-1. パソコン版ヘッダー

i-1-3. グローバルメニュー

グローバルメニューは、利用者を目的のページに誘導したり、コンテンツをわかりやすく適用するためのものです。ホームページの中で一貫して適用し、回遊のための導線とします。



デザイン

3. UIパーツ

i. ヘッダー

i-2. スマートフォン版ヘッダー

ホームページ全体で共通して適用されるパーツです。
利便性の高い機能が集中して設置され、主要カテゴリ等に簡単にアクセスする役割を担います。

スマートフォン版ヘッダーには下記の要素等が入ります。

- ・ランゲージセクター
- ・ハンバーガーメニューボタン
- ・ロゴ
- ・防災・救急情報



デザイン

3. UIパーツ

i. ヘッダー

i-2. スマートフォン版ヘッダー

i-2-1. ランゲージセクター

ランゲージセクターはユーザーがコンテンツを適用するために優先言語を選択できるようにするユーザーインターフェイス要素です。

言語変更をしたいユーザーのため、ページの一番上ヘッダー内に設置します。



i-2-2. ハンバーガーメニューボタン

ハンバーガーメニューボタンは画面スペース資源に制限のある、主にモバイルデバイスで使用されるモバイルメニューを適用するためのボタンです。ハンバーガーメニューボタンは簡単に見つけられるようにするため、ラベル付きで明示します。

本リニューアルでは、メニュー内に検索機能も設置するため、アイコン・ラベルともに検索機能もあることを示唆するものにします。



デザイン

3. UIパーツ

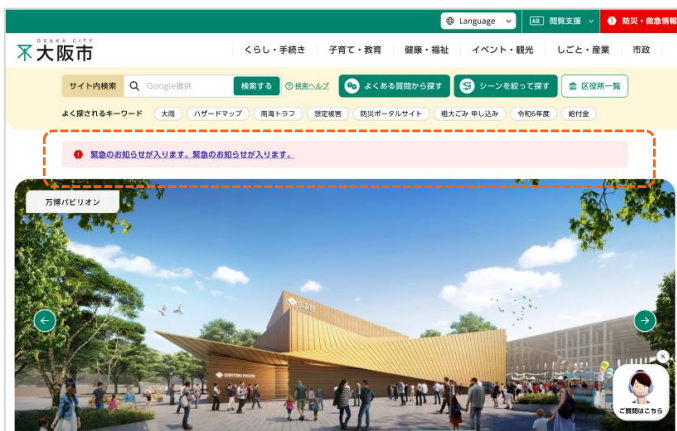
j. 緊急時バナー

緊急時バナーは、緊急時の重要なお知らせを適用するパーツです。
災害情報や重要な行政アナウンスが必要の際に適用します。

エラーカラーである赤で表現し、必ずユーザーの目に入るよう、トップページのファーストビュー内に設置します。

❗ 緊急のお知らせが入ります。緊急のお知らせが入ります。

・市トップページ



・区トップページ

